



まごころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ
まごころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011~2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創会 立 1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長 3 高須 洋志
馬場 将嘉
クラブ広報委員長 3 関谷 俊征
例会 日 3 毎週木曜日PM12:30~
場 3 ヒルトン名古屋

事務局 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
E-MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

第1515回例会

~会員増強及び拡大月間~
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2011年8月4日(木) 晴 第5回

司 会 : 伊藤豪会場副委員長
ゲ ス ト : 西名古屋分区ガバナー補佐 三浦和人さん
地区副幹事 倉地伸幸さん
西名古屋分区幹事 白藤憲雄さん

会長挨拶

高須洋志会長

皆さんこんにちは。本日のゲスト3名と先程お話をさせて頂き、ご指導をいただきました。私たちは瑞穂RCの思いを伝え、また地区として今年度は何を重視して運営をしていくのかをお聞かせ頂きました。それを参考にしながら今年度の運営をしていきたいと思います。三浦ガバナー補佐には後程卓話の時間に、地区とガバナーのお考えを伝えて頂きます。ガバナー補佐のご訪問の後、松前ガバナーが8月18日に2760地区で一番最初に公式訪問されます。ガバナーをお迎えして瑞穂RCを見て頂き、ガバナーの思いを我々のクラブでどのように体现していくかをお話しする機会になると思います。この1年間で出来る限りガバナーの思いを実現していきたいと思いますので、御協力をよろしくお願い致します。



RI会長賞の披露

高須洋志会長

会員増強拡大を認められ、RI会長賞を頂きました。これは前年度の田中会長と加納幹事のご尽力のお陰だと思います。紙一枚ではありますが、重みのあるものだと思います。

出席者表彰

梅村昌孝さんが通算5年100%出席で会長からバッジを贈呈されました。



出席報告

平野哲始郎出席委員

会員67名 出席52名 (出席計算人数52名)

出席率 88.1% 7月28日は補填により 91.2%

8月お誕生日おめでとう

江口 金満さん 鶴田 浩さん 大島 浩嗣さん
岡本 忠史さん 佐藤 善乙さん 山田 鎮浩さん

ニコボックス

平野哲始郎ニコボックス委員

- ・本日、ガバナー補佐訪問で貴クラブにお伺いしました。
三浦和人さん 倉地伸幸さん 白藤憲雄さん
- ・地区大会では合唱団をお招き頂き有難う御座います。
コール・ロータリー名古屋 近藤直樹さん
- ・三浦ガバナー補佐をお迎えて。先日、高木元明さんにお世話になりました。
増田 盛英さん
- ・毎日暑い日が続きますね。お互い体に気をつけましょう。先日、岩田さんのお世話で涼しい楽しい日々を過ごせて快適でした。
長坂 邦雄さん
- ・暑くなりました。
内田 久利さん
- ・懇親会では親睦の皆様ありがとうございます。また二次会も含め、先輩方のあたたかい迎え入れをいただき楽しい時間を過ごせました。野崎先輩、お世話になりありがとうございます。
湯澤 勇生さん
- ・昨日妻がゴルフデビューしました。
鈴木 淑久さん
- ・先週は親睦委員会の皆さんにお世話になりました。また野崎洋二さんはじめ諸先輩の皆さんありがとうございます。
湯澤 信雄さん
- ・暑中見舞い。
宗宮 信賢さん
- ・三浦ガバナー補佐をお迎えて。
近藤 雄亮さん
- ・8月1日は妻の誕生日できれいな花をありがとうございます。
鈴木 圓三さん
- ・妻の誕生日の一日前にお花を頂き有難うございました。お陰で女房の誕生日を忘れずに済み、助かりました。平野哲始郎さん
- ・先日8月1日に48才になりました。皆様のおかげです。感謝!
鶴田 浩さん
- ・8月12日71才の誕生日です。ロータリーに入会させていただいて30年になります。
大島 浩嗣さん
- ・先週の夜間例会の後で野崎さんにお世話になりました。
関谷 俊征さん
- ・8月8日は妻の誕生日です。きれいなお花をありがとうございます。
加納 裕さん
- ・8月1日は小生89回目の誕生日でした。
江口 金満さん
- ・①高須会長、馬場幹事のご活躍を祈って。②山口さんの入会を祝して。③例会の欠席が続いて。
本多 清治さん

会長・幹事懇談会

例会前、三浦和人西名古屋分区ガバナー補佐、倉地伸幸地区副幹事、白藤憲雄西名古屋分区幹事をお迎えして会長・幹事懇談会が行われ、有益なご指導を賜りました。



- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にてガバナー補佐との第2回CAを行います。その後、第2回理事会を行います。
- ・次週8月11日(木)はR規定に基づき休会とします。
- ・次々週8月18日(木)はガバナー公式訪問です。
- ・事務局のお盆休みは8月11日(木)、12日(金)です。

卓話

西名古屋分区ガバナー補佐 三浦和人さん

ガバナー補佐訪問



皆さんこんにちは。ガバナー補佐として今日で3回目の訪問となります。今年度の地区の方針について、RIテーマや松前ガバナー方針を踏まえ、どのように実行するかを考えていることでしょうか。会員増強でRI会長賞を頂いたようですが、会員増強を今年度の方針とする松前ガバナーから見ても瑞穂RCは目指すべきクラブだと思います。

本日私からは東日本大震災についてご報告をしたいと思ひます。この地震で45クラブが被害を受け、会長だけでも1名亡くなりました。5つのクラブで被災した1クラブを援助する『ファイブ・フォー・ワン』という取り組みが始まりつつあります。どのように行いかは決まっていますが、決まりましたら是非とも瑞穂RCも『ファイブ・フォー・ワン』への参加を立候補して下さい。

皆さんには東日本大震災について具体的に知ってもらった方が良いと思ひます。「自然とどう共生するか」「自然エネルギーを大切にしなければならぬ」など自然との関係が非常に問われています。三陸海岸についてまとめた資料を作りましたのでご覧下さい。一番古いものは869年(貞観11年)の記録に残っています。869年(貞観11年)から2011年(平成23年)までの142年間で23回の地震と津波が起こりました。869年から2回目の1585年は約700年開いていますが、この間に記録に残っていないだけで地震は起こっており、実際はもっと回数が多かったそうです。記録にあるだけでも約50年間に1回の割合です。記録が明白に残っているのが1896年(明治29年)の大地震で、その時は死者が21,887名も出ました。東日本大震災では今日現在で死者・行方不明者を合わせて20,425名と、今回よりも大きな被害だったのです。1933年の地震では死者約3,000名だったので、津波の規模が小さかったという意見もありますが、1896年の地震の後にここから先に家を建てないように示す堰が作られており、まだ住民の方も警戒されていたのだと思ひます。

現在東北ではどのように住宅を造っていくかが問題となっています。仮設住宅も中学校の校庭などの高台に建てられ、個人住宅も海岸近くではなく、できるだけ高台へ建設しようとしています。しかし東北地方で高台の建設用地を探しますと、殆どが縄文時代の居住遺跡で、文化財保護法により文化庁の発掘調査が終了しないと建設許可が取れないそうです。これからの都市計画に沿って、高台の建設予定地では急ピッチで文化庁の発掘調査が行われているそうです。縄文時代からこの地方では住居は高台に造るというのが常識になっていた事が分かります。縄文時代中期の紀元前5000年から弥生時代までの4000年間で、仮に50年に1回の大地震津波を80回以上経験していたことから高台に居住地を定めていたと思われまふ。しかし今の時代になり、5.7メートルほどの津波しか来ないだろうと考えていたところに、過去の大地震や津波に匹敵する被害が出てしまったのです。

大昔の人々は自然に対して尊敬と警戒の念を抱き、自然と共生することについて真剣に考えており、我々以上に理解を深めていたと思ひます。現代は科学の力に慢心し過ぎているのではないのでしょうか。港では大型の船は満ち潮の時に入港し、引き潮の時に出港します。このように現在でも船は自然の力を利用しているのです。どんな津波にでも対応できるように10メートル、20メートルといった堤防を作ろうと思うと、何百兆円も掛かり経済コストに合いません。しかし経済コストに合わないから作らないのではなく、経済コストに合った住宅建設や都市計画がこれから必要だと思ひます。今後東北地方でどのような対策が取られるかまだ分かりませんが、中程度の高さの堤防、何十年に1度の大地震や津波に備えた高台への住宅建設、住宅地と工業・商業・農業の地域を分けるなどの対策

が行われ、自然と共生する都市計画を作ることになると思ひます。科学文明が発達して、自然もどんどん変えていけると思ひ、自然の驚異をあまり感じなくなりました。しかし東南海沖地震は今から30年以内に87%の確率で起きると言われています。東日本大震災の被害を救済するだけでなく、将来我々の住む地域に被害が出たときにどうするかを含めて、今考える必要があると思ひます。

地区副幹事:倉地伸幸さん挨拶



皆さんこんにちは。本年度は瑞穂RCさんに地区大会を行って頂くということで私の所属する一宮中央RCとしても感謝をしております。先日幹事仲間で西尾張分区の各クラブを回り、全員登録するようにお願いして参りました。田母神さんが講師でお見えになるという事で皆さん大変興味を持っておられますので良かったと思ひます。

今日までに3つのRCを訪問しましたが各RCごとに特色がございます。一宮中央RCでは例会もパターン化してしまひ、どうしたら楽しく例会に参加できるようになるのだろうかと考えてはいますが、入会した当初と比べてもあまり変わっていないと思ひます。一宮中央RCは69名のチャーターメンバーで始めましたが、現在は二十数名しかおりません。私は地区副幹事という勉強するよい機会を与えていただきましたが、うちのクラブ活動委員達も名古屋のRCを回って勉強すれば、退会する人も少なくなるだろうと思ひました。高須会長も瑞穂RCの例会もパターン化してきていると仰っていましたが、何か一工夫をすることが大事なのだと思います。ちなみに一宮中央RCは4回のうち1回の例会は「ゆったり例会」として飲むための会を行っています。通常の例会と比べるとその例会の出席率がとても高いです。親睦は大切だと思ひますが、もう20年も経ちましたので奉仕しなければいけないと思ひます。

私は自動車屋を営んでおり、30年来一宮警察と一緒に交通安全を行っております。今私が取り組んでいることは「1・3・8(一宮)スマートドライバー」です。交通事故は自動車が起こすわけではなく、運転する人間が起こすものです。ドライバーが他の人にスマートに気遣いする気持ちを持って運転することを宣言した証として「スマートドライバー」というステッカーを車に貼ります。そして皆さんが連鎖をしていくと交通安全に繋がっていくのではないかと思ひます。一宮中央RCの社会奉仕委員会では今年度ボランティアとして200万を掛けてこの事業に取り組んでおります。10月23日にはイベントを行い、一宮全体にステッカーを貼った車が走るように、そして1件でも交通事故がなくなるようにと進めております。私は自動車屋なので、こういう活動をすることが社会奉仕であり、職業奉仕であると思ひて行っております。これからも皆様方に色々ご指導いただきまして、成長して参りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

西名古屋分区幹事:白藤憲雄さん挨拶



皆さんこんにちは。私はRCにチャーターで入り21年になります。熱田法人会という組織の中で当時部会長をされていた方から新しくRCを作るとお声が掛かり、59名で始めました。21年間で60名の大台に乗ったこともありましたが、今はまた減って59名になりました。今年度の松前ガバナーのガバナー方針は会員増強ですが、瑞穂RCはすでに今年度の新入会員が入会され、さすがだと思ひました。ロータリーについてはまだまだ勉強不足ですが、出会いはたくさんありました。2年ほど前に飼っている犬が具合を悪くした時、曜日が悪く動物病院が開いていませんでした。妻もひどく心配し、どうしようもなく松波先生の携帯に電話を掛けると「連れておいで」と優しく言ってくれました。うちの犬は人間にしたら私の年齢より上だそうで、体のあちこちにガタがきています。私が所属する委員会の委員長が高須さんだったこともあり。当時は高須さんの下で色々勉強させて頂きました。鈴木さんとも小学校で税金の先生役をする租税教育の時に一緒に行かせていただきました。色々な人と知り合いになり、助けられ、教えられ、人脈が広がっていくことがロータリーとしての価値だと思ひます。

高須洋志会長挨拶

本日は各クラブ委員会の考え方や方針を発表して頂き、それがガバナーの考え方や基本方針にマッチしているかを確認して頂きます。少し頼りないと思う事に関してはアドバイスいただけると幸いです。

クラブ奉仕委員会:西本 哲委員長

高須会長の方針に基づき、親睦と奉仕の両輪で活力のあるクラブ運営に重点を置いて活動したいです。活動計画として、年2回クラブ奉仕協議会を行う予定で、先々週第1回を行ったところです。会員増強とクラブ活性化への取り組みに重点を置きたいです。入会してもクラブに馴染めず、2、3年で退会される方が今までにかなりおりました。新入会員が配属された委員会ごとにコミュニケーションを図り、しっかりと会員としてやっていけるようにフォローしていただきたいと思います。

出席・ニコボックス委員会:近藤茂弘委員長

ホームクラブへの出席をお願いします。出席率が3割を下回らないよう2ヶ月毎に出席率を集計し、随時報告していきたいと思ひます。

ニコボックス委員会としては前年度同様皆さんには御協力をしていただいておりますので、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

会員増強及び維持・会員選考・職業分類委員会:加納 裕委員長

期首の会員数63名、7月に新入会員4名が入会、現在67名です。今後2名の入会予定があり69名になる予定です。70名を目標としたいですが退会の問題もあります。楽しい例会運営が退会防止に繋がると思ひます。会長方針では純増2名が目標ですので退会防止に努めたいと思ひます。

また会員選考・職業分類につきましては、会員の1割までは同業種で選出が可能なので若い人の入会を勧めていきたいと思います。

クラブ広報委員会:関谷俊征委員長

広報の中心はウィークリーの発行です。予算について以前から金額が高いという話があり、質とコストのバランスを考えようと思ひます。ウィークリーの品質との兼ね合いが問題で、現状レベルを維持するのは難しいと考えています。ウィークリーは大切な活動の一つと思ひますので、より正確にメンバーへ活動内容をご報告していきたいと思ひます。

会員増強・退会防止について:三浦和人ガバナー補佐

名古屋南RCは退会者が非常に少ないので工夫している事をお訊きしました。例会プログラムは身近で関心の深いものをテーマに組まれているそうです。結果的に退会者が少ないということは、魅力を感じているのだと思ひます。名古屋東南RCでは例会の時間を3つのパターンに分け、卓話のある日はしっかり話を聞き、ゆっくり食事していただく時間も大切にしているそうです。名古屋東南RCでは干支別など席が重ならない工夫をしたり、新入会員の方には22もある同好会のどこかに必ず入ってもらうそうです。こうした取り組みでRCの活性化を図っているそうです。瑞穂RCは順調に会員拡大されていますので、松前ガバナー訪問時には感謝されると思ひます。

親睦活動委員会:堀 慎治委員長

特に3年未満の新入会員との親睦を中心に上期3回・下期5回の特別例会を運営していきたいです。1回目の特別例会では亀井会場委員長と話し合い、3年未満の新入会員がどうすれば皆さんと親しくなれるか考えました。長く所属されている方は友情持って接していただき、新入会員の方と親しくなって退会防止に努めて下さい。また若い方々にはロータリー活動は面白いと思ひていただき、会員増強に繋げていけたらと思ひます。

プログラム委員会:梅村昌孝委員長

プログラム委員会としては卓話を通じてロータリー活動の理解を深め、会員が興味や関心のある内容の卓話を依頼し、出席率の向上を図ることを方針としました。高須会長は卓話のない例会もお考えでそれを踏まえたプログラムを作成中ですので、完成次第皆さんにご報告いたします。なお11月10日までは最初に決めた通りですが、それ以降のプログラムが変更になりますのでもう少し時間をいただきたいと思います。

R情報・研修委員会:岡村達人委員長

クラブ計画書の1.方針の1行目「R情報委員会に”情報”と・・・」は「R情報委員会に”研修”と・・・」の誤りですので訂正をお願い致します。今年度から研修という言葉が追加されました。これはロータリーについて学び一緒に研修するという事です。ターゲットを新入会員だけでなく中堅会員も対象とし、来年の2月か3月に研修を行いたいと思ひます。

会場委員会:伊藤 豪副委員長(代読)

会員の親睦を図り、会員・ビジター共に快適な例会を過ごして頂ける様に努めることを方針とします。例会の在り方を考え、会員同士が分かち合えるような例会を目指し、卓話なしの例会を9月22日に行う予定です。

クラブ奉仕について:三浦和人ガバナー補佐

名古屋南RCではフリートーキングという日を設けていますが、自由に話していいと言うと皆さん黙ってしまう時もあり難しい面もあります。フリートーキングの深め方について、瑞穂RCで行っていただき良いやり方があれば教えていただきたいです。新入会員をどうするかはどのRCでも大変気を遣っていますので、色々工夫していただきたいと思います。

職業奉仕委員会:渡辺喜代彦副委員長(代読)

今年度RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を念頭に今年度のガバナー方針で「会員増強とクラブ活性化」と、うたわれていることから、博愛精神を持ち、若い世代の会員増強を目指して職業奉仕を実践し、企業倫理を高揚できるように努めることを方針と致しました。活動計画としては、①職場例会を9月8日(木)に鉄道・リニア館にて開催。②「四つのテスト」を会員に徹底する。③「職業奉仕」に関する卓話を行うなどして職業奉仕についての理解を深める。④フォーラムセミナー、3分間スピーチなどを実施していこうと考えております。

社会奉仕・環境保全委員会:宗宮信賢委員長

社会奉仕では楽しく住み良い地域社会を目指し、奉仕活動をより積極的に行う事を方針としています。8月2日社会奉仕委員長会議に出席し、食物リサイクル事業に支援金50万円、養護施設の6才以下のお子さんを長島温泉で遊ばせる会への支援金100万円などが決まりました。支援金は地元が優先で、東日本大震災への支援金は原則から外れるのではないかと意見が出ましたので、来年のテーマにしても良いと思ひます。瑞穂RCからも支援先団体をご紹介いただければと思ひます。

環境保全では蛍の飼育、緑のカーテンの代替案を募ります。

新世代奉仕・ローターアクト委員会:天野正明委員長

名古屋南RC、名古屋南RC、名古屋東南RCとの4RCで提唱している名古屋熱田RACの事業支援と交流を主として活動します。毎年名古屋熱田RACの十数名を例会に招待し交流を図り、今年度は来年3月22日に予定しています。毎月2回RACの例会があり、4RCから計8名が参加しています。RYLAセミナーやRAC主催の大会へ参加します。

社会奉仕委員会について:三浦和人ガバナー補佐

東日本大震災でご両親を亡くしたお子さんが約1500名いるそうで、ガバナー会として集めた基金を元に大学を卒業するまでの支援をしようとお考えです。東北地方のRCからは今すぐにも支援金を送って欲しいとの要望があり、どうするかをガバナー会で話し合っています。『ファイブ・フォー・ワン』という5つのRCで1つの被災RCを補助する運動が提唱されています。RIからロータリーで震災支援のお金を集めることが認められ、使用する口座の案内や東日本大震災への支援の案内がこれから来ると思ひますので、よろしくお願ひいたします。

国際奉仕委員会:松岡道弘委員長

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」をテーマに、台北延平RCとの交流を深め積極的に国際奉仕活動に参加することを方針とします。今年度は台北延平RCが創立35周年を迎えますので、記念式典には多くの会員が出席できるように努めたいと思ひます。RI国際大会はアジアでの開催ですので、できるだけ沢山の方が参加できるように企画したいです。昨年度は米山奨学生への応募がございましたので、今年度は是非とも応募者が出るよう働きかけていきたいと思います。

R財団委員会:長坂邦雄委員長

ロータリー財団の主旨を尊重し、活動を理解してもらう為の情報を提供します。一番力を入れているのはグローバル補助金を使い、ウガンダのムイエンガRCと共同事業としてのウガンダ共和国の教員宿舎改修計画です。昨年度加納幹事がムイエンガRCを訪問し、合意文書に調印致しました。グローバル補助金が授与され共同事業が動き出すよう努力します。

米山奨学委員会:八木沢幹夫委員長

米山奨学に対し、会員の理解と協力が得られるよう努力します。中国から名古屋市立大学薬学部に留学している楽怡さんの受け入れ期間中のサポートをし、リーフレットを使用して米山奨学への理解を得られるよう努めていきたいです。中国からの留学生が6割と多く、台湾から1人でも選んでいただけたらと思います。先週、会員1人当たりの金額を増額したとのメールが来ましたので、また皆さんとご相談したいと思います。

米山奨学委員会について:三浦和人ガバナー補佐

東日本大震災で国際的に一番支援金が多かったのが台湾です。現在180億円くらいとなっていると思います。日本に対し、また東日本大震災に対して協力していただいていることもあり、大事にしていきたいです。

長期ビジョン委員会:野崎洋二委員長

長期ビジョン委員会は瑞穂RCの先を見越し、発展のために活動する上で起きる諸問題について、理事会から要請を受けて審議し、答申する委員会です。当委員会には決定権はありません。方針と活動計画については計画書の通りです。今年度は委員会を3回開催する予定です。

長期ビジョン委員会について:三浦和人ガバナー補佐

長期的に見通しを立てていらっしゃるようで、ありがとうございます。今年度もよろしくお願いたします。

地区大会実行委員会:高村博三委員長

名前の通り地区大会を実行するための準備を行っております。基本準備は既に済み、後は8月末の参加申込期限終了後、人数に合わせて調整を致します。帰り際に「今日の地区大会は良かった」と仰っていただけるようにしたいと思っています。

地区大会実行委員会について:三浦和人ガバナー補佐

地区大会、本当にご苦勞様です。来年の2月21日には名南RCがホストクラブになりI.M.を開催致します。もちろん地区大会には参加させていただきますが、皆さんI.M.にもご出席よろしくお願いたします。

地区ポリオプラス委員会:増田盛英委員長

一昨年の30周年記念事業の一環として、インドへポリオワクチンを届けましたが、賛同していただいた地区の方も合わせ34、5名の方にインドを訪問していただきました。昨年はこの地区から17名がワクチンを届け、今年も9月に地区だけで30名位集めて行きたいと考えています。瑞穂RCからの参加は10名を目標にしたいと思います。

地区研修委員会:天野正明委員

9月17日(土)地区全82クラブから新人を招き、新人研修会を行います。地区大会第1日目の朝には地区指導者育成会議を行います。RLIという勉強法が採用され、それに従って地区研修委員の研修を全4回行うそうです。来年の6月には私も立派な研修リーダーになっているはずですので、よろしくお願いたします。

地区大会企画委員会:遠山堯郎委員

先程、高村地区大会実行委員長が仰った通りでございます。

地区大会実行委員会について:三浦和人ガバナー補佐

9月17日(土)に14時から17時まで新入会員研修セミナーがございます。関口研修委員長が主催する形です。松前ガバナーのお話や片山地区研修リーダーのお話が聞けますので、是非参加していただくようお願いいたします。私も研修に参加すると言われる立場で、研修に忙しいです。高須会長からも会長・幹事の会議が多すぎるのではないかとの意見があり、会議内容など地区幹事を含めて話し合っていきたいと思います。

地区環境保全委員会:稲葉 徹委員

7月12日に第1回地区環境保全委員会があり、顔合わせと委員長方針・今後の委員会の在り方についてお話がありました。明日は第2回の委員会があり、9月9日に行われる環境保全委員長会議の打合せをします。

地区職業研修チーム委員会:加納 裕委員

R財団のグローバル補助金を使って、海外から研修チームを受け入れ、また日本から海外に研修チームを送り出す事となります。昨年度は日本からアメリカへ医師1名、看護師2名の計3名が1ヶ月の研修に行きました。今年度は11月12日にRI9600地区(オーストラリアなど)から5名を受け入れ、名大などで1ヶ月間ドクター研修をしていただきます。来年の4月には日本からオーストラリアへ5名送り出す予定となっています。月に2回ほどのペースで委員会が開かれていますが、11月の研修を受け入れることに関しては承認番号をいただき、決定事項として進めています。

地区職業奉仕委員会:高木 勝委員

7月25日に第2回の委員会があり、10月のテーマが職業奉仕月間なので、各クラブの職業奉仕委員長に卓話をしていただくための会議をしました。8月25日に地区職業奉仕委員長会議が行われます。従来の会議ではなく地区割でテーブルを分け、地区委員が委員長にレクチャーし、職業奉仕をご理解いただき、各クラブで卓話をしていただくのが目的です。8月29日は地区職業奉仕委員に各クラブから卓話の依頼が来た時のためのレクチャーを受けます。私も2、3のRCへ職業奉仕の卓話へ行く予定ですので、またご報告の機会がありましたらさせていただきます。

総括:三浦和人ガバナー補佐

午前中の会長・幹事懇談会の中で、「地区委員に出向するとロータリーの中身が理解できるため、瑞穂RCではできるだけ出すようにしている」と報告を受けました。今後も引き続き地区委員を出していただき、協力していただければ有り難いです。瑞穂RCは会員拡大も順調に進んでおり、例会も和やかに行われています。松前ガバナーには瑞穂RCはもう少し頑張るそうなので、5000名は間違いなくご報告させていただきます。

総括:倉地伸幸地区副幹事

沢山の委員会で活動されていることに感銘を受けております。各クラブ委員会メンバーと地区委員会メンバーが違う場合があるので、それぞれの連携がうまくいくのが少し気になりました。クラブ内の委員会と出向先が同じ委員会の方が、地区の意向がそのままクラブへ反映するのではと思いました。私の考えではありますが、参考にして下さい。

総括:白藤憲雄西名古屋分区分幹事

私がRCに誘われた時は何も分らず、RCに入るガラではないと思いました。これから会員増強していくにあたり、私のような零細企業の方々には入会に抵抗があるかもしれません。私自身RCは雲の上の存在だと思っていましたが、実際に入会すると皆さん身近に付き合ってくださいました。高須会長は「先輩が障害になってはいけない」との考えから、瑞穂RCでは先輩の重さを無くすと仰っていて、素晴らしいと思いました。

総括:高須洋志会長

今発言していただいたことを是非この1年間で行っていただきたいと思えます。白藤さんの発言に追加させていただきますと、我々受ける側にその覚悟ができれば、先輩方に安心してクラブライフを送っていただけるといことです。覚悟も心構えもないままに、ただただ気を遣うのが重いというだけでは駄目なのです。先輩があって、現在の楽しいクラブがあるという事を忘れてはいけません。

例会のご案内

■8月11日(木) R規定により休会

■次週の行事 8月18日(木) ガバナー訪問

場 所:ヒルトン名古屋5階「金扇の間」

■次々週卓話 8月25日(木)

卓話講師:市民キャビネット災害支援部長
松尾道夫さん

テ ー マ:東日本大震災活動報告